



9Capital 取り組み紹介

2025年7月16日

1

会社概要



- 9Capital（ナインキャピタル）
 - 2024年8月 9 Capital合同会社（本店：北九州市）
 - 2024年11月 1号ファンド組成
 - 2025年1月 アクセラレーションプログラム（9Cアクセラ）始動

代表プロフィール



竹山 将志

ソフトバンクグループに新卒入社。エンジニアマネージャーとしてソフトバンクグループ内外の大規模システム開発に従事。その後、事業開発マネージャーとして新規事業立上げを行う。

政府系ファンドのINCJ（旧産業革新機構）でIT/IoT/ディープテックを中心にベンチャー投資の経験を積み、上場株運用会社であるレオスグループに移り、ベンチャーキャピタルを新規で立上げ。主にシード期スタートアップのインキュベーションや投資を行う。

北九州市企業誘致アドバイザー
情報経営イノベーション専門職大学客員教授
娘3人の父

2

MVV/投資を通じて目指すこと



■MVV

- ・ ミッション：新事業創造で日本を強く、豊かにする
- ・ ビジョン：日本の強みを活かしてグローバル企業を創出する
- ・ バリュー：地域でコミュニティ形成して連続的にスタートアップを創出して育成する仕組みづくりを行う

■投資を通じて目指すこと

- ・ 新産業を創出する
- ・ 人類の課題解決を行う
- ・ グローバル起業家を多く生み出す

3

北九州のポテンシャル



01 ものづくり企業の集積

鉄鋼・化学の素材部材、自動車メーカー、ロボット、半導体産業が集積

- ・ 製造業従業者数：全国**11**位
- ・ 製造品出荷額：全国**15**位



02 グリーン産業の集積

- ・ 北九州エコタウンにはリサイクル企業が集積（**日本最大級**）
- ・ 再生可能エネルギー導入容量 政令市**3**位



03 豊富な理工系人材

理工系**14**校・**3,000**人以上の人材を毎年輩出



04 北九州学術研究都市（知の集積）

理工系の国公立大学や研究機関が同一キャンパスに集積



■ 国内外ディープテック・クリーンテックスタートアップの集積

- ✓ ものづくり企業の製造能力を活用したスタートアップのプロダクト開発支援
- ✓ 地元企業や北九州市の持つアセットを活用してプロダクトの実験をする環境提供
- ✓ サーキュラーエコノミーのビジネス実証を行う環境提供

■ 技術シーズの社会実装スキームの構築

- ✓ 九州工業大学田向研究室のロボティクス・半導体×AIの技術シーズを社会実装するスタートアップ立ち上げ
- ✓ 上記を皮切りに有望シーズを社会実装するスキームを連続的に構築していく
- ✓ 特にメカトロニクス・ロボティクス×AIは世界的にも競争力のあるスタートアップを生み出すポテンシャルがある

4

北九州の課題認識とビジネス機会創出



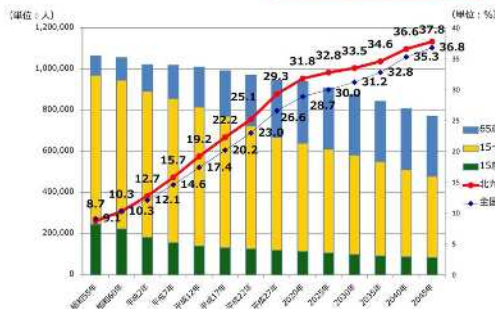
○ 高齢化率 R4:31.2%(政令市1位)

高齢化率 政令市1位
人口の約3人に1人が高齢者



人口構造の推移予測

労働人口の減少が予測されている



■ プロダクトの実証フィールド

- ✓ 9Cアクセラ参加企業が北九州の課題にタックルするプロダクトを開発・実証中
- ✓ 医療スタートアップが在宅医療現場のDX～バーチャルホスピタルの構築を目指してPOCを実施中
- ✓ 外国人労働者や留学生向けに越境での与信判定を行うスタートアップが北九州での実証を計画中

■ 北九州モデルの構築を目指す

- ✓ 高齢化や労働人口の減少が進む北九州で課題解決を行うことが先進的な事例となり、後から同じ課題に直面する国内外の他エリアへの展開が可能となる
- ✓ 北九州市や内閣府とも連携して北九州モデルの認定をもらうことでこの動きを加速することを企図

5

ものづくり既存産業と新産業の融合



As Is



- ・ 深センにハードウェア製造サプライチェーンが集積してハードウェアのシリコンバレー化している
- ・ 世界のハードウェアスタートアップは試作品製造を深センに依頼するが、米中の関係悪化から世界のスタートアップは試作品製造に課題がある

To Be



- ・ 当ファンドが北九州ものづくり既存産業とディープテックスタートアップが創る新産業との結節点となり、北九州を新たなディープテックスタートアップの集積地へ
- ・ 当ファンドでファイナンスやアクセラレーションの機能を提供することで製造面以外の成長を支援
- ・ グローバルスタートアップ創出に繋げる

6

次世代のグローバル企業を育てるスタートアップ道場



- 新たなスタートアップの集積地を作り、次世代のグローバル企業を育成するためのコミュニティづくりを行う
- 当ファンドは北九州に集積するスタートアップ向けのハンズオン支援、若手起業家や起業家候補へのアクセラレーションプログラムを実施
- 自治体、地域の豪族企業、大学、スタートアップ（九州・瀬戸内エリアのスタートアップまたは親和性ある全国のスタートアップ）と取り組みを開始。中長期的には大企業やグローバルのスタートアップに参画いただき、大きなコミュニティ形成を企画

7

9Capitalアクセラレーションプログラム（アクセラ）



• アクセラ参加企業

- ✓ 領域：ものづくり・ディープテック、ITサービス（toB）、ITサービス（toC）、伝統工芸・食・アグリ、社会起業、フィンテック、社内起業
- ✓ 本社所在地：北九州、福岡、佐賀、熊本、宮崎、岡山、大阪、東京、茨城、北米

• デモデイ開催

- ✓ 開催日時：2025年06月21日（土） 会場：門司赤煉瓦プレイス

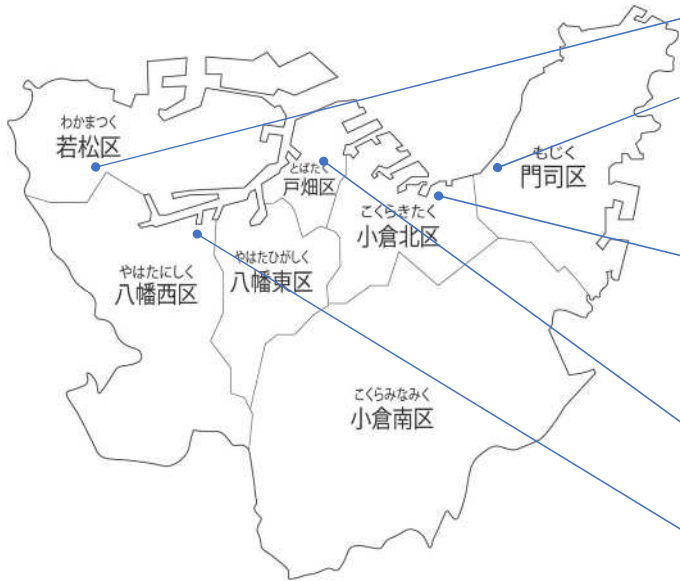


8

プロトタイプ開発支援と実験場所提供（提供範囲拡大中）



北九州のアセットをフル活用したハード・ソフトプロトタイプ開発支援とビジネス実証・プロダクト実験



- ・学研都市での実証実験、ハードウェア製造装置、試験機器（半導体）の活用
- ・岡野バルブ工場建屋での実験、ソフトウェア・ハードウェアのプロトタイプ開発支援
- ・ディープレックススタートアップのアクセラレーション
- ・インキュベーション施設提供
- ・COMPASS小倉（主にITサービス系スタートアップ等の集積、全業種の創業支援機能）
- ・北九州地元企業とスタートアップとの連携拠点（予定）
- ・グローバル企業との連携拠点新設（予定）
- ・九州工業大学のハードウェアプロトタイプ製造装置、分析機器（メカ）の活用。インキュベーション施設の活用
- ・ドーテクノスTUNAGU Factoryの活用
- ・大英産業プロジェクトとの連携

9

北九州での活動



北九州市のスタートアップ支援 全体像



すでに連携済み、または主体的に実行している施策

今後連携を予定している、または主体的に実行していく予定施策

10

九州+瀬戸内エリアの連携構想

- ものづくりが盛んな九州と瀬戸内エリアでのそれぞれの強みを生かした連携構想
- 北九州の深セン化構想を皮切りにレガシー産業×スタートアップの軸で地域コミュニティを強化
- 1つの地域に閉じずにエリアで連携することで珠江デルタのような経済圏を構成する

